

お寺の代替わり

前回の晋山式（平成元年）

● 晋山（しんざん）とは

新たに浄土宗より命（めい）を受けた住職（新命）が、寺院（山）に入山（晋すすむ）すること。

法蔵 現住職は平成元年に住職就任しました。そしてその年の秋に住職の就任式である「晋山式」を行いました。その時の様子を振り返りたいと思います。

① お練り行列

晋山式に際し、お祝いの「お練り行列」が行われました。大桑町の沼尾医院様の駐車場を集合場所とし、そこからお寺まで長い行列を作り練り歩きました。行列には、総代様

・世話人様・近隣のお寺様・お稚児（ちご）さん・石屋などの業者様が参加し、長い行列でお寺へと向かいました。沿道では多くの方が祝いの声をかけてくださいました。



当時の寺報より

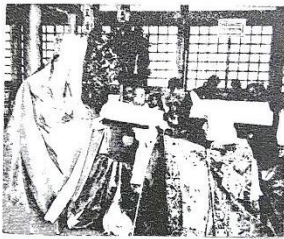
② 開門式

法蔵寺の山門である赤門では「開門式」を行いました。新任職の指示のもと、数名の僧侶が門を開け、そこを行列が通過します。大変厳かな儀

式でした。いつも通っている赤門ですが、この時ばかりは初めて通らせていただくという新鮮な気持ちになりました。

③ 晋山式（堂内式）

本堂内ではメインの晋山式が行われました。浄土宗の本山より派遣された僧侶より、法蔵寺住職の任命を頂きました。さらに、引退する住職から新任職へと、過去帳、扨子（お導師様が使用する仏具）、お袈裟が引き継がれました。浄土宗栃木教区から、たくさんのお僧侶が参列し、祝辞もいただきました。



当時の寺報より

④ お披露目の宴

一連の儀式の最後に、檀信徒を代表として、総代・世話

人様と食事を囲み、新任職のお披露目が行われました。別室では近隣のお寺様へのお披露目も行われました。

⑤ 晋山関連事業

晋山式に際し、行われた晋山事業は「境内歴代上人墓所の新設」でした。乱雑に並んでいた歴代上人の墓石がきれいに並べられました。現在も檀信徒墓所参拝の折に、多くの方に手を合わせていただく大切な場所となりました。



参道にある歴代上人廟

これらはみな、檀信徒の皆様からの「晋山祝い」にて行われました。改めて檀信徒の皆様には深く感謝申し上げます。合掌